



やさしく
ニャンハウ

かしこく
トンミン

たくましく
ホーエマイン

新年度に向けて

今年度も終わりに近づきました。理事会、保護者、その他文部科学省及び外務省をはじめとする多くの皆様に支えられながら、本校も教育活動を進めることができましたこと、深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

さて、予測不可能な未来に向けて「生きる力」を育もうと学習指導要領が改定されてから数年がたちます。そして、時代はますます予測しにくくなってきているのではないのでしょうか。そんな中、児童生徒には、どんな状況でも、自分を大切に、他者と協調しながら生きていける「生きる力」を発揮しながら、問題を乗り越えていってほしいと願ってやみません。ハノイ日本人学校は、そのような社会に生きる児童生徒たちに、より豊かな思考力、コミュニケーション力をはじめとする力を身に付けていけるよう、来年度は以下のように、「授業づくり」を進めていきます。

令和6年度のハノイ日本人学校の授業づくり

ポイント

各教科領域の一層専門性の高い学習内容を習得し、高い思考力・コミュニケーション能力・問題解決能力の育成を目指します。

教科担任制で、教える側の教員の一層の授業力の向上を目指し、児童が学ぶよるこびを感じ、「深く考える」ことができる授業づくりを進めます。

短縮授業を導入し、児童に学習規律、学ぶ楽しさがある教室を保証し、より集中力のある授業づくりを目指します。「学ぶことは楽しい」という体験を積み重ね、一層の学力の向上を目指します。

教科担任制

一人一人の教員の担当する教科を絞り、授業準備を充実させることで、教員が、授業中の話し方、問いかけの仕方、黒板の書き方等の基本的な技能から、友達と対話しより深く考え、思考力を育てることができる質の高い授業づくりまでの技能を学び、実践できる環境を整えます。そして児童のより豊かな学びの実現を目指します。

短縮授業

今までの本校の学習内容を減らすことなく、児童が1週間を通して一定の集中力を保持できる環境を整え、一層の学習規律のある学習環境の実現を目指します。そして、児童が「自分にはできる」という自信をつけることができるように授業を進め、学力の一層の向上を目指します。

中学部
3年間

小学部4-6年
3年間

小学部1-3年
3年間

短縮授業について・・・

先日は来年度からの小学部1学年から3学年までの短縮授業についてのお知らせをさせていただいたところですが、そのことについて少し詳しく触れたいと思います。

本校の場合は、多くの日本の学校と同じように、「一斉指導」が授業の基本的なスタイルです。この一斉指導において児童生徒がより集中して学習を進めるために必要な「安心安全な雰囲気」を維持するには、「授業規律」が重要です。そしてこの授業規律の確立には、特に小学部低学年での取り組みが重要です。小学部低学年は「授業とは何か?」「授業ではどうしないといけないか」という基本的な学習態度を身に付ける大切な時期でもあります。この時期に培ったものがその後の学習に大きく影響します。

本校の現状に目を向けると、児童生徒は本当によく頑張っています。授業でも楽しそうな笑顔がたくさん見ることができます。朝のスクールバスは渋滞時には1時間以上乗車し、そこからの6校時授業ですが、児童生徒は自分で楽しみを見つけて、授業にも集中しています。ただ、小学部の低学年の午後の様子は、どうしても疲れが出て、教員も工夫はしますが、多くの教職員が児童の集中の限界を感じています。そして、教員が児童を注意するシーンが増え、それが重なれば、「授業・勉強がきらい」という児童の思いにもつながり、教員と児童との関係にとってよくない影響を及ぼす可能性もあります。

「別に午後は大目に見ればいいじゃない。」という考えもあると思います。

しかし、授業時間に規律が求められる時と求められない時のギャップが大きすぎると、学校・教室という場、授業という時間、で気持ちの切り替えをしている児童は混乱します。「状況によってフレキシブルに判断して気持ちを切り替える行為」は、一定の発達段階が必要なため、それが難しい発達段階の児童は全授業での規律を守ること自体が難しくなる可能性もあります。1回の経験でどうかなるということではないのですが、それが日常的に続くと大きな影響につながります。この授業の短縮で、英会話・ベトナム語を含め、従来の学習内容が減ることはありません。

教育はすぐに結果が出ないこともあります。一人一人の児童生徒が、確かな学力を身に付け、今後の人生を豊かに生きていけるように、教職員一同頑張りますので、御理解御協力をよろしくお願いいたします。